

- 1 海拔 2500 メートルの高度にあるブータン パロ空港。
- 2 空港から首都ティンブーへ向かう道は幹線道路でもずーっとこんな感じだ。最も大きなバスでもマイクロなので 10 人位の移動が精一杯。
- 3 ティンブーで見つけた小学校の制服「キラ」を着た女の子。どの子もフレンドリーで、カメラを向けてもにこっと笑う。



01

雷龍の国 ブータン・ヒマラヤ ハイキング6日間

ハミングツアー旅行記
2012年4月13日〜18日

撮影：小柳 はじめ
photographs: Koyanagi Hajime



ワンチュク国王来日で
話題になったブータン王国。
国民総幸福量を重んじる
幸せが溢れる国だった。

ブータンってどんな国でしたか？ ツアー後聞かれる事が増えました

ワンチュク国王が妻ツェチェンさんと日本を訪問したのは昨年の11月。ブータンという国と日本とのつながりについて初めて知った方も多かったと思います。「国民総幸福量」を重視する国とはどんな国なのか、ハミングツアーはいち早く今年4月にツアーを行いました。企画を考え始めたのが昨年初、夫妻が来日したのが11月。タイミングがあつたので、興味を持たれた方も多くいらつしました。

ツアーから戻ると「ブータンどうだった？」とよく聞かれます。ブータンは中国の南、インド北にあり、標高3000m〜7000mまでの高低差がある山岳地帯にあります。

赤道も近く熱帯のくだものも豊富に揃っていて、市場に行くとバナナやサトウキビ、スイカが売っていて、食材はバラエティに富んでいます。ブータンの人たちは唐辛子が料理の基本になっているようで辛みの強い食べ物が多かったです。



ブータン日程 [1日目] 新潟→ソウル→バンコク《バンコク泊》
 [2日目] バンコク→パロ(ブータン) ㊦ドチェ峠 ㊦ティンブー市内
 観光 ㊦メモリアル・チョルテン ターキン放牧場《ティンブー泊》
 [3日目] ㊦弓道場 ㊦パロへ タクツァン僧院展望台《パロ泊》
 [4日目] ㊦チェレ峠 ハイキング ㊦市内観光 ㊦キチュラカン
 小学校訪問 民家訪問《パロ泊》 [5日目] パロ→バンコク市内
 観光→ソウル《機内泊》 [6日目] ㊦ソウル市内観光→新潟

- 4 ティンブー市内を見下ろすとブータンの国会議事堂が見える。この近くにワンチュク国王の住まいがある。
 5 街のあちこちで国王夫妻の写真を見かけ、とても愛されていることが分かる。
 6 ブータン国内には1つも信号はなく首都中心の交差点は、警官が誘導する。と言っても野良犬が暢気に昼寝中!
 7 郊外の峠道の両側はこの時期桜草のお花畑が出現。
 8 予定には無かったがタクツァンへ行く途中野菜市場のサブジ・バザールを見かけ散策。
 9 メモリアル・チョルテン。3代国王が生前に発願し、建てられた塔で、正式なお参り方法は、右手でマニ車を回しながら、左手に数珠を掛け、塔の周りを3回時計回りに回るのだそう。塔のまわりにはおばあちゃん達がマニ車を回している。
 10 弓はブータンの男達のたしなみ。140m先の的を射止め、当たると踊り出す。

**飛行場は標高
2500m、着陸できる
パイロットはたった9人**

ブータンのパロ空港は、標高2500メートルに位置し5500メートル級の山々に囲まれています。その間をすり抜けるようにほぼ垂直に急降下して、幅150メートルの滑走路に着陸しなければならぬためパイロットは高度な技術を要求されます。

パロ空港に着陸できるのはドゥルック・エアーの9人のパイロットだけです。着陸できる飛行機もブータン王国所有の3機だけで、国王が公務で海外に行かれるとブータンに乗り入れることができる飛行機は2機になります。ブータンの観光が人気になっても飛行機の数が決まっているので劇的に観光客が増える事は少ないのではないのでしょうか。

ブータンの観光はホテル、ガイド、ドライバーと食事が付いて一人一日いくらと決まっています。観光プランも事前に提出して、プラン通りにしか動けないという制度があります。管理されていますが監視されているわけではありません。



- 1 駐車場が標高 2500m、タクツァン僧院が標高 3000m。第一展望台から見たタクツァン僧院。
- 2 カフェテリアがある第二展望台に到着。欧米人が多く日本人は少数派。
- 3 タクツァン僧院はブータン人が一生に一度はお参りしなければいけない場所。この中には入れますが撮影禁止。
- 4 歩くのがつらい方は馬やロバに乗って登ることもできる。
- 5 タクツァン僧院では赤い石楠花が咲いていました。
- 6 輪廻転生に描かれたチベット仏教の教え。



りません。

空港のあるパロから山道を進んでティンブーへ移動します。現地ガイドさんは「ゴ」という民族衣装で迎えにきてくれました。ティンブーに着くと男性は「ゴ」を、女性は「キラ」を着ている人が多く、伝統を重んじている国だと感じました。

物質の豊かさより、国民の幸福量を大切に
するブータン王国

ブータンは、水力発電で電力を海外に販売するくらいの発電量ですが停電する事もあるそうです。ホテルのお風呂も容器に入った水を電気のヒーターで温める原始的な方法で、大量に使うと水しかできません。ホテルで一人がお湯を張ってお風呂に入ると次の人にはお湯ができません。こんな事が日本だったら大変な事になります。でもここはブータン、家族の幸せを最も大切にしているブータンの人にはお湯がないからといって人が死ぬ訳ではない。時間が経てば解決する事だと考えてます。ブータンはチベット仏教の国。考え方の根



7 ガイドさんをお願いしてブータンの小学校を訪問。日本でいう小学一年生にあたる。授業は国語と歴史以外は全て英語。

8 学校の前にはお母さん達がお弁当を持って待っていたので、お願いしてお弁当を見せていただきました。

9 ダルシンはヒマラヤの麓に眠る神秘の王国ブータンの祈りの旗です。ブータンでは亡くなった人のために108本のダルシンを立てて成仏をお祈りする習慣があります。

10 民家で「アラ」という自家製焼酎をいただき、仏間へも案内してくれた。

11 世界第3の高峰カンチェンジュンガ (8586m)。

12 チェレ峠から見た「女神」チョモラリ (7314m)。

13 日本語の堪能なガイドのサンゲさん。民族衣装「ゴ」に「カムニ」を纏った正装。



予告

**次回ブータンツアー予定
2012年11月と2013年4月頃**

◎ブータンスライドショー上映会開催

9月上旬予定 次号にて詳細発表!

興味のある方はお電話ください。

社長小柳がブータンについて映像を交え熱く語ります!

●お問い合わせは ハミングツアー新潟営業所

tel 025・255・6110

受付時間/月～金 9:30～18:30 土 9:30～16:00(日・祝 定休日)

本を宗教の教えが支えています。寺院に行くと「輪廻転生」に描かれたチベット仏教の教えを見ることができました。

経済の発展こそが国民一人ひとりの幸せにつながるものだという考え方は、あまりに物質至上主義的な考え方です。それは国民の間に「格差」や自然界に「環境破壊」を及ぼすものであることに、前国王は、気づいていたようです。

本当の幸せは、お金の価値(GDP)ではなく国民総幸福量(GNH)心の価値なのかもしれません。日本人の忘れてしまった心の幸せを発見する旅になりました。



- 1 家の石組みの後ろでは、谷から霧が吹き上がってくる。
- 2 あまりの高度感で足がすくむワイナピチュからの下山道。
- 3 発見から100年を迎えた石組みの街並み。
- 4 4000mもの山々に囲まれた熱帯雨林の中を、ピストナム号はゆっくりマチュピチュへ向けて走る。
- 5 飛行機から見た「ナスカ地上絵」これは宇宙人!?



遙かなる南米ペルー 4つの世界遺産 スペシャル8日間

ハミングツアー旅行記
2011年10月5日〜12日

02

撮影：小柳 はじめ
photographs: Koyanagi Hajime



2日間セッティングで、晴天のマチュピチュへ!!

日本からは地球の裏側に当たるペルーは乗り換え含めて移動に24時間以上。インカの人々が残した宝物「マチュピチュ」は山裾からその存在を確認できないことから「空中都市」とも呼ばれ、天空の城ラピタのモデルとも言われています。インカ人は文字を持たなかっただけに神秘的な魅力は絶大です。一日目は太陽の門ヘミハイキング(約2時間)とマチュピチュ観光後、マチュピチュ麓の村に宿泊し、翌日はオプションでワイナピチュ(約2時間)山頂へ登るか、再びマチュピチュ観光へ行くという2回のチャンスセッティングしました。結果、初日は小雨と霧、二日は曇っていましたがやがて雲が晴れ、最高の空中都市マチュピチュに出会えました。マチュピチュは半日観光が多くワイナピチュへ登る日本人観光客はほとんどいません。人数制限がありますが是非おススメしたいスポットです。ここからの景色はマチュピチュ全景を見渡せる最高のスポット。



次回ペルーツアーは2012年 9月27日〜10月4日です。詳しくは65ページをご覧ください。

● 海外ツアーのお問い合わせは ハミングツアー新潟営業所(坪井まで) / tel 025・255・6110 受付時間/月〜金 9:30〜18:30、土 9:30〜16:00(日・祝 定休日)

洞窟ホテルに2連泊、 2大都市じっくりツアー

トルコの旅は、思い出がバスの中というほど、数百キロを走り続けるツアーが多い中、じっくりたづねるツアーにしようと言うことでイスタンブールとカッパドキアの2大都市に絞りました。イスタンブールはボスポラス海峡を架け橋としてヨーロッパとアジアが交差するエキゾチックな場所。ブルーモスクやアヤソフィア大聖堂の2大モスクも見学し、もちろんグランドバザールへショッピングに行きました。何度行っても楽しい所で、特に値引き交渉が楽しみのひとつですね。エジプシャンバザールヘフリートイムに個人的に行かれた方も…。

カッパドキアでは人気の洞窟ホテルに2泊。カイマクル地下都市、ウフララ渓谷ハイキング、カッパドキアワインのワイナリーと美味しいものから絶景までじっくり観光しました。オプシヨンの気球に乗って朝日に赤く染まるカッパドキアの景色は感動的でした。少人数なので突然のショッピングや現地でのアレンジも自由自在に楽しみました。

03

ヨーロッパとアジアが交差する
トルコ2大世界遺産の旅
少人数ならではの
アレンジ自在のツアーでした。

ハミングツアー旅行記
2012年4月9日～16日

永遠の都「イスタンブール」と 「カッパドキア」8日間



- 1 カッパドキアの代表ウチヒサールの絶景。
- 2 カッパドキア気球ツアー、朝日がとつてもキレイです。
- 3 ウフララ渓谷ハイキングでセリメ修道院跡を見学。
- 4 イスタンブールの旧市街にあるグランドバザールには約4000軒ものお店が outlet しています。
- 5 オスマン帝国時代から残る建築物ブルー・モスクでは、中にも入場します。

ハミングタイム世界遺産こだわり旅。
Humming time
世界遺産倶楽部

2





- 1 ここには多くの外国人が集まって、アンコールワットの夜明けを観賞していた。
- 2 バイヨン寺院の「クメールのほほえみ」と呼ばれている四面観世音菩薩。
- 3 オプションの気球では、地上からはわからないアンコール・ワットの全景を見ることができる。気球のバスケットの中はドーナツ状になっていて歩くことができる。
- 4 タ・プロム遺跡は発見当初の姿に近い状態にされている。長年放置されていた遺跡にはジャングルの樹木が絡みつき、いっそう幻想的に。

クメールの秘宝 「世界遺産 アンコールワット」と 天使の都「バンコク」5日間

ハミングツアー旅行記
2009年2月7日～11日

04

撮影：小池 伸一
photographs: Koike Shinichi



忘れていた何かを思い出させてくれる
世界がここにある
楽しさと感動と美味しさが
たくさん詰まっていました



神々に守られたアンコール遺跡群。行った人だけが感じられる大自然

カンボジアには大自然の神々がいるのではと感じることがあります。樹木がからみついた「タ・プロム」や雨季や乾季にその大きさを変えるトンレサップ湖を観光、木や水を神と信仰する彼らの聖地は、放っておけば元気な自然が覆いかくしてしまします。そんな自然のせいか、食べ物ものがすごくうまい。バイキングでは三食野菜を中心にしつかり食べました。特に美味しかったのが、「フオー」。ビーフンのような麺をさつと茹でて、薬味をトッピングしたもの、毎食たべました。

今までハミングは乾季にツアーを行なってきましたが、初めての雨季にツアーを開催いたします。日本の雨季とは違い一日中雨が降り続く事はありません。一時的に数十分降るのみです。乾季の空は晴れ渡ったきれいな青空と緑豊かな季節、雨にぬれたアンコールワットは本来の石の色を見ることが出来るベストシーズンです。今までハミングツアーで参加された方も、もう一度どうぞ。



次回アンコールワットツアーは2012年 □6月27日～30日 / □8月22日～25日です。詳しくは65ページをご覧ください。

● 海外ツアーのお問い合わせは ハミングツアー新潟営業所(坪井まで) / tel 025・255・6110 受付時間/月～金 9:30～18:30、土 9:30～16:00(日・祝 定休日)

登ったことを誇れる山 「キリマンジャロ」

赤道付近にも関わらず、キボ峰の頭頂部が氷河で白く美しいキリマンジャロは近年の温暖化で氷河が消滅しつつあります。

キリマンジャロは、高山病の危険があるのでホロンボハットに連泊してトレッキングなどをして体を慣らしました。その後、キボ峰のカルデラの淵であるギルマンズ・ポイント（5682メートル）に登頂。山頂のウフル・ピーク（5895メートル）までは約210m。途中5500メートル以上は壮大な氷河地帯の景色を眺めながら登頂を目指します。

登頂後は直ぐにキボ・ハットを経てホロンボ・キャンプサイトまでおりてテント泊。翌日マンダラ・ハットを経て全員無事下山。ツアー中には、サファリドライブも楽しみました。

キリマンジャロ登頂には、エキスパート・ツアーリーダーや現地ガイド、ポーターなど総勢約20名がバックアップしました。



憧れのキリマンジャロ
全員無事登頂に成功
多くのサポーターが
登頂を支えました



05

撮影：ツアーのお客様

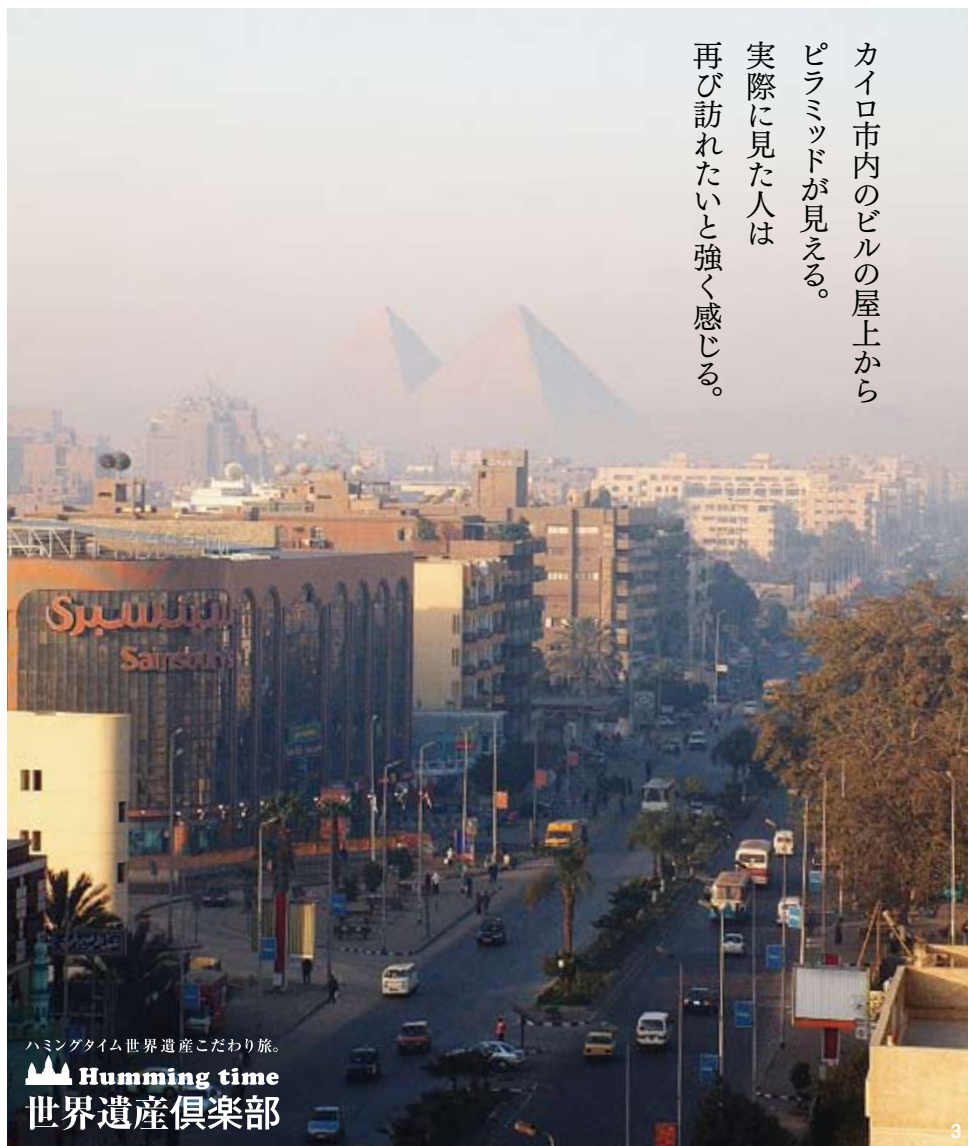
ハミングツアー旅行記
2010年9月10日～20日

キリマンジャロ
ゆつたり登頂と
サファリ11日間



- 1 ギルマンズ・ポイントでご来光を仰ぐ。
- 2 森林帯、草原帯から砂れき帯と続く登山ルートで見られる植物。
- 3 地球温暖化で姿を消しつつある巨大な氷河の迫力。
- 4 アルーシャ国立公園でサファリドライブ。
- 5 砂れき帯のローア・ルートをキボ峰直下のキボハットへ。

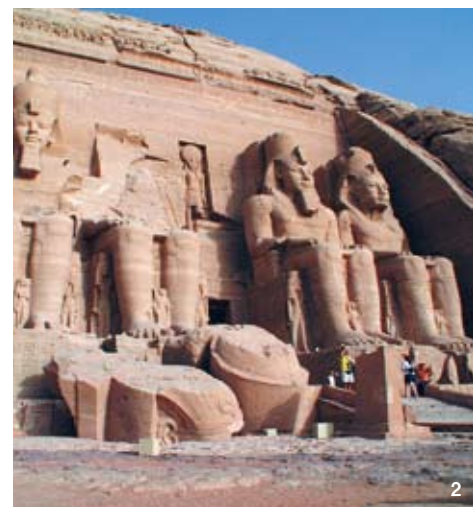




カイロ市内のピルの屋上から
ピラミッドが見える。
実際に見た人は
再び訪れたいと強く感じる。

ハミングタイム世界遺産こだわり旅。
Humming time
世界遺産倶楽部

- 1 ハトシェプスト女王葬祭殿。この崖の向こうが王家の谷。
- 2 アブ・シンベル大神殿のラムセス2世像はとても大きい。中では壁画などたくさん見ることができる。
- 3 カイロ市内から見ると現実と遺跡が共存しているようだ。
- 4 カイロ博物館でツタンカーメンの黄金の玉座、王妃との仲の良さを象徴した秘宝は黄金に輝いています。
- 5 ルクソール東岸、カルナック神殿には巨大な建造物が多く集まっている。



古代文明に 出会う国エジプト 周遊8日間

ハミングツアー新企画
2012年11月・2013年1月予定!

06

撮影：小池 伸一
photographs: Koike Shinichi



一生に一度はいつてみたい
国エジプト。私は2度
行っちゃいました！

エジプト旅行の思い出はと聞かれれば、クフ王のピラミッドに王家の谷でツタンカーメンの王墓とシヨッビング。アブ・シンベルでは大神殿・小神殿を見て、さらにカイロ博物館でツタンカーメンの黄金のマスクとラムセス2世のミイラを見た事、エジプトの地元家庭料理がとってもおいしかった事、とくにナンのようなパンがとってもおいしくてお土産に買った事、と思いだだけ。エジプトの旅は感動の旅、一度行ったら忘れられない思い出一杯。私は2度も行ってしまいましたから。

エジプトの人は、自分たちのことを「エジプシャン」と呼びます。ツタンカーメンは「ツタンカーメン」と呼び、ちよつと発音が違いますので現地へ行ったら使ってみてください。ガイド本には載ってません。

エジプトのカイロは都会ですが、ルクソールから王家の谷に向かうと昔懐かしい風景に出会えます。エジプトは行くたびに新しい出会いや発見があります。何度でもエジプトへ行ってください、そのたびに新しいエジプトが見つかります。



ハミング初めてのエジプトツアーを計画しました。詳しくは66ページをご覧ください。

● 海外ツアーのお問い合わせは ハミングツアー新潟営業所(坪井まで) / tel 025・255・6110 受付時間/月～金 9:30～18:30、土 9:30～16:00(日・祝 定休日)

ショッピングに観光、グルメに芸術。モンサンミッシェルの夜景もばっちり!!

この時期シャゼリゼ通りの夜は街中クリスマスイルミネーションでとってもきれいです。メルヘンチックでロマンチック、見ているだけでも楽しくてウキウキします。凱旋門まで歩きながらショッピングを巡るのも楽しいです。エッフェル塔は昼間と夜で2回見ましたが、夜のライトアップは幻想的で最高でした。

今回の目玉はモンサンミッシェルの対岸ホテルに宿泊し、夕食後は徒歩で夜景観光。ノルマディ地域はカキが有名ですが、以前赤潮で全滅し現在は広島のカキを養殖しています。日本生まれでフランス育ちのカキ達です。お土産にはこの地域で作られたりんごの蒸留酒のみに付けられる「カルバトス」がおすすめです。

5日目のフリータイムも経験豊富な添乗員が地下鉄を使った観光プランでサポート。ショッピングにオペラ座観光、カフェでティータイムなど。少人数だからできるアレンジも楽しいです。

07

ハミングツアー旅行記
2011年12月12日～17日

モンサンミッシェル対岸のホテルに宿泊。
夕食後に幻想的な夜景を観光。
少人数だからできるアレンジ自在で
ショッピングやグルメを堪能しました。

美しき花の都パリとモンサンミッシェル
&ロワールの古城めぐり6日間

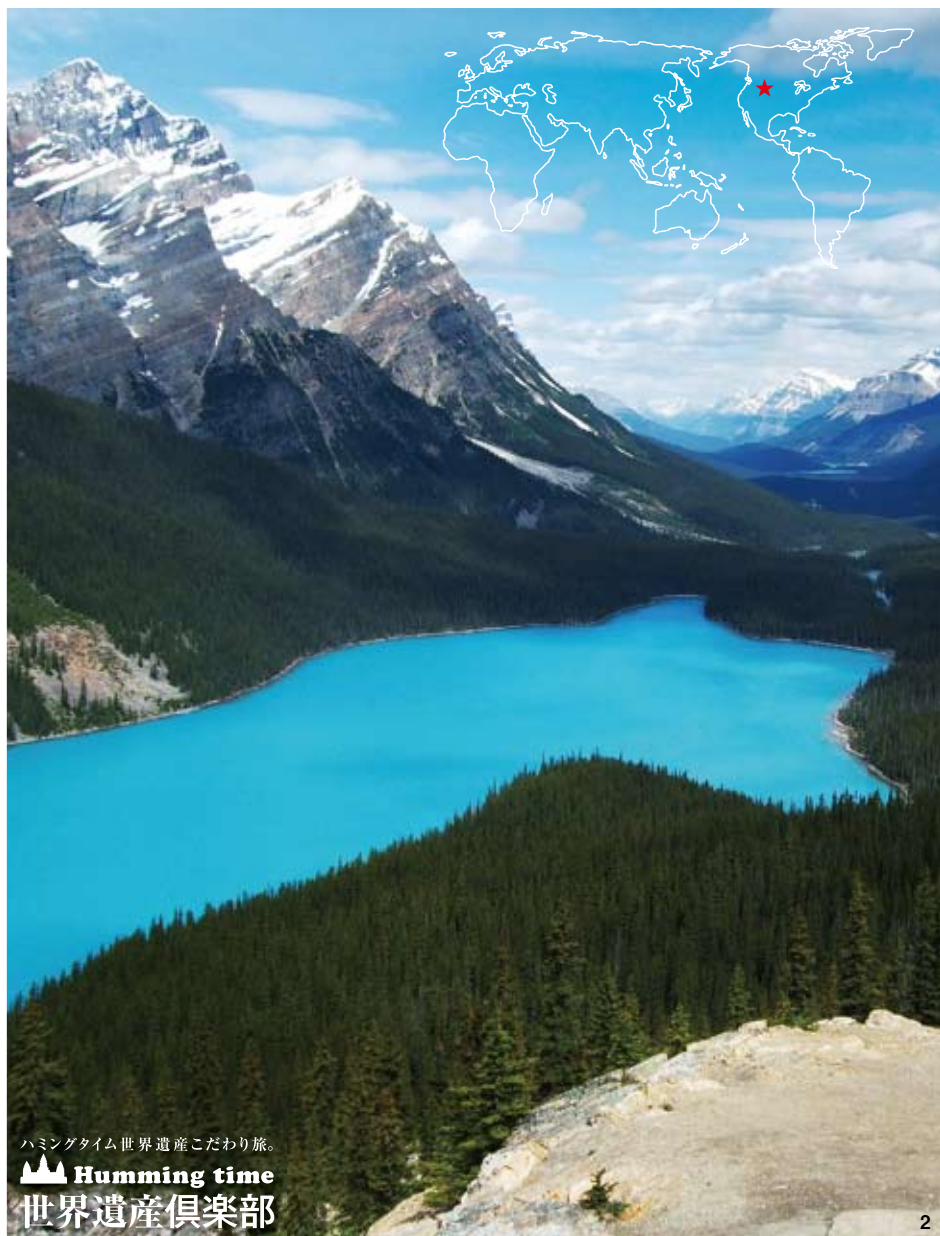


- 1 ライトアップされたモン・サン・ミッシェルを対岸から鑑賞後、歩いて島へ。
- 2 エッフェル塔はどこから撮っても絵になるランドマーク。
- 3 モネゆかりの街ルーアンではノートルダム大聖堂とその周辺を散策。
- 4 ルーブル美術館の夜景もとてもキレイ。
- 5 ルーブル美術館ではイヤホンで日本人ガイドの説明を聞きながら観賞しました。

ハミングタイム世界遺産こだわり旅。
Humming time
世界遺産倶楽部

2



世界遺産を歩こう！
カナディアン・ロッキー・ベスト・
ハイキング8日間雄大なカナダの大地を踏みしめる！
大自然の宝石箱カナディアンロッキー
ハミング定番トレッキングツアー！

ハミングタイム世界遺産こだわり旅。

Humming time
世界遺産倶楽部

2



- 1 モレーンレイクに写る朝焼けのテンピークスは必見。
- 2 ペイトー湖からの景色はカナディアン・ロッキーを代表する景色。
- 3 欧米人憧れのディア・ロッジに宿泊。
- 4 7月1日カナダ建国記念日のカナダデーにレイクルイーズでカヌーを楽しむ陽気なカナディアンご一行さま。
- 5 黄色いカタクリを始め、珍しく可憐な高山植物。

予約困難なホテルにも
宿泊、少人数だからこそ
楽しめたツアー！

カナディアン・ロッキーの高山植物の一番きれいなのが7月。この時期は日照時間が長いが寒暖差が激しく晴天時と悪天候では気温がずいぶん違います。とはいえ晴れていればさわやかな風を感じながらのハイキングは最高です。現地日本語ガイドには花に詳しいガイドさんを選任して、天気やトレイルの状況に併せてご案内。少人数しか行けない秘密のトレイルにも行きました。さらに、なかなか予約が取れないレイクルイーズのディア・ロッジに宿泊できたのも少人数ならではの。

この時期にしか見られない絶景、モレーンレイクに写る朝焼けのテンピークスを写真におさめました。日本でも自然の美しい場所とはたくさん見ましたがカナディアン・ロッキーの景色は次元が違います。ハイキングや街を歩いているといろんな動物達にも出会え、観光地化されていない大自然を感じます。シャッターチャンスが多すぎてカメラのメディアが足りなくなりそうでした。